

映像コンテンツ制作でお悩みの方、まずはご相談ください。

デザイン担当では、業務で作成する映像・動画に関する技術、人材育成をサポートします。

※サポート内容の詳細はホームページをご覧ください <https://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/gijutsushien/mov/>



業務として映像制作をされている方

- 低予算でDVDビデオの作成(プレス量産)がしたい
- ブルーレイディスク制作の方法が知りたい
- 低予算で舞台や講演会の収録・中継がしたい
- 8Kや4K、3Dなど映像制作の最新技術が知りたい
- サラウンド音声の編集、録音の方法が知りたい

自社用の映像制作をお考えの方

- 自社内でPR動画づくりやスタッフの人材育成をしたい
- TV番組のようなネット中継や映像配信がしたい
- 家庭用ハンディカムを使って営業に使える動画を撮りたい
- パソコンで簡易的なビデオ編集の方法が知りたい
- イベントやセミナーのビデオ撮りがしたい

サポート分野

撮影・収録・編集技術

撮影システム、マルチカメラ収録、音声録音、ライティング、ノンリニア編集システム、映像合成、CGアニメーション

DVD-Video・Blu-ray 制作技術

MPEGエンコード(映像圧縮)、DVD・BDタイトルオーサリング(メニュー作成・編集)、プレス用・量産データ(DLT等)作成

簡易システム

家庭用ビデオカメラ等の業務利用、パソコンでのノンリニア編集、低コストシステム

技術研究・相談会

技術相談・相談会の実施、共同研究の実施、受託研究の実施

人材育成

映像制作技術講座の開催、企業から研究生受入の実施、大学から実習生の受入実施、セミナー講師の派遣

ケース2) 映像に強い社内スタッフの人材育成

最近、製造業の現場から要望が多いのは、自社製品などの、映像PRについてです。例えば撮影のタイミングが限られる「オーダー品の出荷前の稼働映像」や「建設中でなければ撮影できない工場設備」、海外輸出を考慮した「マニュアルの映像化」など、社内で映像をもっと簡単に、積極的に役立てたいと考えられておられる企業さんも多いようです。

それらをサポートする技術講座や、企業さんからの、研究生受託等も実施しています。

※他にも映像制作会社、CATV局やイベント企画会社等から、最新技術の活用や、ネット配信等の相談も、受けています。映像コンテンツでお悩みの方は、お気軽にご相談下さい。

映像制作技術講座のご紹介

プレゼンやホームページなど、仕事で映像を利用した情報発信の機会が増えています。



「ビデオ撮影の基礎」「パソコンを使ったノンリニア編集の基礎」などをテーマとした、実習を交えながらの講座です。

初心者に起こりがちな失敗やビデオカメラと、スマホやデジカメの動画機能との違い、三脚など周辺機材選びのポイントから、素材データの種類、業務で使用できる撮影テクニックや編集技法、映像制作の考え方などについて学ぶ講座を、それぞれ目的に応じて、少人数(3名程度)から開講しています。

※「撮影技術基礎」「編集技術基礎」「初級編集～ビギナーズ」など各講座の詳細や日時、受講をご希望の方は、応用技術課デザイン担当までお問い合わせください。

サポート事例

ケース1) 業務でDVDビデオを制作する

市販のビデオレコーダーやパソコンでも簡単にDVDビデオが制作できる時代ですが、業務で販売や配布する際に、制作したDVDビデオが、一部プレーヤーで再生できない等のトラブルが発生することがあります。これらが量産品で発生すると、全てクレームや返品となってメーカーに戻ってきます。

当センターでは、量産のため工場に渡すプレス用のデータの作成以外にも、エラーを出さない技術、事前検証の方法などについて技術相談を実施しています。



お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 応用技術課 デザイン担当 TEL:075-315-8634 FAX:075-315-9497 E-mail: design@mtc.pref.kyoto.lg.jp